

「危機の時代」と大震災

—新しい社会形成の可能性—

岩崎 信彦

はじめに

1 阪神大震災 17 年目からみた東日本大震災

○NHK 「阪神大震災 17 年特別番組東北復興を支えたい」(2012.1.17.)

NHK アナウンサー 住田功一さん(神戸大学 News Net の OB、『語り継ぎたい命の尊さ』)
淡路島旧北淡町の職員 神林さん 復興区画整理事業の苦悩を 宮城県亘理町支援
一級建築士野崎さん 住宅再建を共同住宅で 気仙沼市へ
長田区大正筋商店街(副理事長) 伊東さん 南三陸町 仮設商店街復興支援

○17 年目の訴訟 JR 新長田南地区 市街地再開発事業ビル

*神戸市長田区の再開発ビル「アスタくにつか」(計9棟)で、店舗所有者が住宅所有者の数倍以上の管理費を負担していた問題で、店舗を所有する店主ら52人が16日、「過剰に徴収されていた」などとして、管理・運営を委託している第三セクター「新長田まちづくり会社」を相手取り、計約3億円を求める集団訴訟を神戸地裁に起こした。(神戸新聞 News2012/01/16 21:29)

*神戸市が再開発ビルの空き店舗対策として、2007 年度以降で計 45 店舗に対し、約 3 億円の内装工事費を肩代わりしていたことがわかった。商業床の約半分が売れ残る中、賃貸で入居する店舗への事実上の見返りとして負担。震災時の権利者で先に入居していた商業者には知らされていなかった。

同地区では約 40 棟の再開発ビルが計画され、30 棟が完成。住宅計 2183 戸は完売したが、商業床は思うように売れず、約 7 万 6300 m²の約 51%が売れ残る。・・・(神戸新聞、2011/1/9)

○早すぎた都市計画決定(1995.3.17.)と神戸市の「開発主義」

⇔ 東日本大震災 遅すぎる復興政策

(阪神) 国の都合(補正予算3月末)「都市計画決定を急げ」 1.17 地震→3.17 都市計画決定 +神戸市の「都市経営」主義 新長田再開発事業の信じられない巨大さ等

「ショック・ドクトリン」(惨事便乗型資本主義) vs 被災住民の不信感。

(東日本) 増税の突破口にするためにすぐには「復興国債」発行をしなかった?!

当初5年間で復興19兆円と見積もる。うち10.5兆円を臨時増税で(11年11月復興財源確保法。所得税25年間、2.1%上乗せ。法人税3年間だけ、法人税減税後の税額に+10%上乗せ(ちょうど減税分)。120119朝日夕刊、経済ナビゲーター) /個人向け復興国債:11年9月、12年3月。

⇒政治・行政局面に左右されない、災害基本法による独自の救援・復興体制の構築を!

2 東日本大震災の復興の状況

(1) 宮城県と岩手県の復興思想の違い

宮城県 企業誘致、漁業・農業の近代化（漁協、出てこず）

+エコタウン（自然エネルギー） どのように結びつくのか？

岩手県 生業（なりわい）と暮らしの復興。 漁協中心の復興。

(2) 地域復興計画が出つつある／ 先進的な担い手も少しずつ

東松島市 多重防潮線、集団移転を含む、農地の基盤整備（大区画化）、

矢本 立沼地区： 集団移転+農地基盤整備事業（農業法人化）

南三陸町（志津川町） 河岸拡張（バック）型あるいは河口水門型、

被災市街地土地区画整理事業

仮設商店街の開設（12年2月）

仙台市若林地区 避難所から出て一人で農業再開、復興した人が、若い人にも声をかけている。

しかし、農業経営でやっていけるかどうか50歳代以下の働き手の所で苦悩がある。（Sさん談）

3 防災と減災 一車の両輪として

○石巻の悲劇

・石巻市大川小学校の悲劇 北上川沿い

生徒74名（全校108名中）、教職員10名（13名中）死亡・行方不明

（石巻市全体の幼児・児童・生徒の死亡・行方不明182人）

30分以上も校庭で議論（「高台避難」先、事前未指定）

・石巻市北上総合支所の庁舎・吉浜小学校 北上川河口に近い

庁舎には少なくとも57人の住民や職員らがいたとみられるが、無事が確認されたのは男性職員2人と小学4年生の男子児童1人だけだった。庁舎は指定避難所だったにもかかわらず、生存率はわずかに5%。多くの人が犠牲になってしまった。宮城県沖地震で想定される津波が高さ5.5メートルだったため、建物は1メートル高い海拔6.5メートルの場所に建設された。…津波は近くの吉浜小校舎の3階天井まで達した。同校によると、卒業式準備のため学校に残っていた4、5年生の計5人と教職員10人は狭い屋上に逃げ、かろうじて難を逃れた。全校児童49人のうち、死亡・行方不明は優心さんや美里さんを含め7人。いずれも支所にいた可能性がある。（河北新報 Kol net, 2011年06月04日）

・月浜地区 「過去の津波の歴史で得たことが裏目に出た」

（「妻や孫を呼ぶ声だけが谷間に響く」石巻市北上町十三浜大室 佐藤清吾、

金菱清編『3.11 慟哭の記録』2012年2月）

* 「避難した大室の実家は明治三陸津波が届かなかった」が今回の津波はそれをさらっていった。

* 此の月浜地区の北上川沿いの吉浜、追波、釜谷崎集落では、約数キロ上流にも拘わらず集落の9割以上の家屋が流失・全壊となり、250名以上の人命が失われたのであるが、月浜から上流以上の集落は古来より津波とは全く縁のない所だとの言い伝えのあった事が、今回の人的被害を増幅させた最大の原因と見られる。

○「釜石の奇跡」

鵜住居地区の小中学校の生徒約 570 人、全員が無事避難。

14 小中学校の 2926 人のうち 2921 人が生き抜いた。

8 年前から防災教育。群馬大学の片田敏孝教授の指導。3 原則。（朝日、2012.1.26.）

①想定にとらわれない、②その時の状況下で最善を尽くす、③自ら率先して避難する。

* リスク的視点を含んだ防災教育

「想定通りにはならない災害状況」に対して「判断力にもとづく最善の行動」

+ 「率先避難」、「率先」の中に社会性、集団性が含意されている。（「てんでんこ」にも）

津波なし大地震の場合はどうか？ 「近隣救助、共同避難」、…

○創造的シミュレーション（risk の danger 化）による体験防災活動を

・大分市社会福祉協議会＋震災がつなぐ全国ネット村野さん 避難所支援の経験から

シミュレーション設定による避難所体験の企画（2012.2.13.NHK ニュースウォッチ 9）

・創造的シミュレーション設定できる人：災害体験、支援体験を踏まえリアルに考える

4 「危機の時代」と〈減災社会〉

○「危機の時代」

自然災害系： 首都直下型地震、東海・東南海・南海地震、異常気象による大水害、…

病原菌系： 新型インフルエンザ、抗生物質耐性菌、…

社会災害系： 世界恐慌、国家デフォルト、…

○「リスク社会」（U. ベック）の到来

1 資本主義経済 「リスクを取る risk take」を本質としている。

過剰生産恐慌、投機と金融恐慌、国家による介入（国家破綻へ）、…

2 科学技術の発達

因果関係の不可視化。副作用、廃棄物。

→資本主義との結合による利潤実現。国家的プロジェクト。生態系破壊。

⇒科学技術依存、専門家依存。情報統制。民衆の判断力喪失。

3 社会の私化 privatization 競争の激化、協力の喪失、ストレス・不安の増大、ファッションの危険、…

○〈減災社会〉の構築を — 「リスク社会」を乗り越える

1 大都市での防災・減災の態勢づくり

・地域防災=共同自治の形成 防災・福祉コミュニティ（神戸市）、…

都心部：地域住民＋企業＋役所

2 新しい減災社会のイメージ

(1) 災害による崩壊度が少ないこと — 中規模単位の自給的耐久力

地域自給： 食料、水、エネルギー（太陽光、風力、小水力、地熱）

個人自給： 菜園型農業、雨水、井戸、コンポ^oストイレ（大小便分離、避難所緊急トイレの作り方）、

(2) ネットワーク型共助社会

- ・都市と農村、沿岸部と内陸部の地域間連携 （例）早稲田商店街、…
- ・「切実なる自助」（非正規 30 歳代の若者）→共助（シェアハウス、市民カフェ、…）
- ・多様なアソシエーション形成：住縁、文化・スポーツ、ボランティア、エコ、
→コミュニティが「泡立つ」（マッキーバー）（「地域コミュニティ政策」には要注意）

(3) 低エントロピー・地域循環型社会

- ・埼玉県小川町、パーマカルチャー、など
- ・化石燃料（+原発）→ 再生エネルギー 風力発電の研究状況
「グリーン資本主義（グリーン・ニューディール）」の可能性と限界
エネルギー効率は下がる。 どんな産業構造・社会構造をつくるのか？